



What's the triangular logo?
ロゴマークの意味は？

Q 三角形のロゴマークの意味は？

A 上の3本線は、市民・行政・企業が支えあうパートナーシップと青い空を、下の横棒は緑の大地をあらわしています。

How do I participate?
参加するには？



Q 活動に参加するには？

A 講座やイベントに参加するほか、ボランティアスタッフあるいはインターンや共同研究者として活動に参加する、賛助会員に入会するなどの方法があります。みなさまの参加をお待ちしています。

How do I learn about pollution and the environment?
学ぶには？



Q 公害や環境のことを学ぶには？

A あおぞら財団附属「西淀川・公害と環境資料館」では、図書・資料をはじめビデオや教材の閲覧・貸し出しサービスをおこなっています。また、公害患者の語り部の紹介や視察・研修の受け入れをおこなっていますので、お気軽にご相談ください。

What about international exchange?
国際交流は？



Q どんな国際交流をしていますか？

A 韓国や中国をはじめ、タイ、フィリピン、台湾など、アジア地域の環境 NGO との相互訪問や情報交換、韓国の司法修習生の研修受け入れなどをおこなっています。また、英語や中国語、韓国語の出版物の作成もおこなっています。

Can children participate, too?
子どもも参加できる？



Q 子どもも活動に参加できますか？

A はい、できます。子どもと一緒に生きもの調べや空気のよごれ調べ、環境マップづくりなどの活動をおこなっています。子どもは未来を担うまちづくりの主役です。

手渡したいのは青い空 ～トンボ飛びかうまちへ～

あおぞら財団は公害地域の再生をめざして活動するNPO(非営利組織)です。被害者・住民の立場から、地域と環境の再生に向けた調査研究、実践活動を創造的にこなっています。

活動内容

- 公害のないまちづくり
- 公害の経験を伝える
- 自然や環境について学ぶ
- 公害患者の生きがいづくり

4つの分野を柱に、調査研究や提言づくり、市民参加型の講座やイベント・シンポジウムの開催、関連資料の収集と情報提供、視察・研修の受け入れ、学校授業の支援、国際交流などをおこなっています。



設立の経緯

1978年に提訴された大阪・西淀川大気汚染公害裁判は、1995年3月、原告と被告企業9社との間で公害地域の再生にむけて互いに努力しあうことを内容とする和解が成立しました。患者たちは裁判に託した「手渡したいのは青い空」の願いを次の世代に引き継ぐために、1996年9月、和解金の一部を拠出して、財団法人公害地域再生センター(愛称=あおぞら財団)を設立しました(環境省所管)。全国で初めての試みです。

公害のない

ま ちづくり

大都市では、自動車排ガスによって今なお深刻な大気汚染が進行し、都市環境の改善が求められています。そこで、人と環境にやさしい道路政策に向けた提言づくり、CO₂削減などに効果のあるエコドライブの社会実験や普及活動、交通をめぐる問題を共に考え実践する道路環境市民塾の運営、市民参加型の環境アセスメントの普及などをおこなっています。西淀川地域の歴史やコミュニティをいかしたまちづくりにも取り組んでいます。

小学生、中学生の
環境マップ
づくり



公害の経験を

伝 える

西淀川公害をはじめ日本の公害経験、被害の実態を伝えていこうと、住民運動・裁判に関する資料や地域資料の保存・整理に取り組んでいます。それらの活用場として、あおぞらビル内に「西淀川・公害と環境資料館」を開設しています。どなたでも利用できます。

学校との連携や教材づくり、視察や研修の受け入れ、アジアの環境 NGO との交流活動などにも取り組んでいます。



「公害地域の再生」とは

公害地域の再生は、たんに自然環境面での再生・創造・保全にとどまらず、住民の健康の回復・増進・経済優先型の開発によって損なわれたコミュニティ機能の回復・育成、行政・企業・住民の信頼・協働関係（パートナーシップ）の再構築などによって実現されます。そのために、環境基本計画が提唱する「参加」の理念に立ち、市民の立場から、地方公共団体や企業、その他すべての社会的主体の協力を得て取り組む必要があります。

自然や環境について

学 ぶ

身近な自然や生きものたちが伝える環境情報を集める活動を、子どもや市民の参加で続けています。タンポポやセミのぬけがら調べ、矢倉海岸の干潟の生きもの調べに加えて、都市に残された貴重な自然を守るための提言づくりもおこなっています。



公害患者の

生 きがづくり

公害患者の願いは、大気汚染によって奪われた健康を回復し、生きがいを持ちながら、住みなれた地域で、安心して暮らし続けることです。高齢化する患者の健康・生きがいがづくりをめざして、園芸教室や水中リラックス教室などをおこなっています。

患者の療養生活の実態を把握する調査に取り組み、加齢がすすむ患者の生活に必要な施策を検討しています。



出版物・ビデオのご紹介

『都市に自然をとりもどす』共著（学芸出版）2000年（2,000円）

『西淀川公害に関する学習用パネル』2001年（5,000円）
（B3版 16枚組フルカラー解説資料付）

『かぶりとおころ爺のまち調べとマップづくり』2002年（500円）

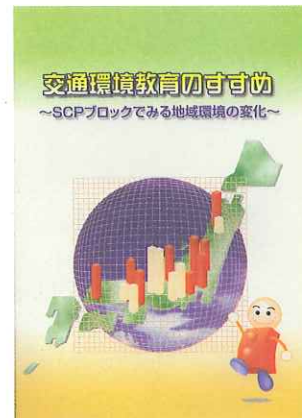
『交通環境教育のすすめ～SCPブロックで見る地域環境の変化～』
2002年（無料）

ビデオ『手渡したいのは青い空
～未来からのメッセージ～』2005年

ほか多数



500円



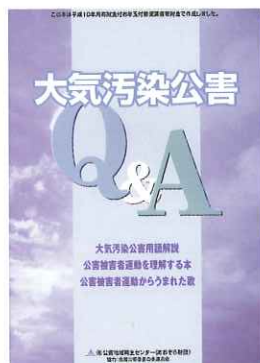
無料



500円



2,000円



500円



西淀川公害に関する学習用パネル（B3版 16枚組）5,000円

※書籍や資料のお求め・お問い合わせは、ホームページかファクス、または直接お電話ください。

参加の方法はいろいろです

あなたの会費、寄付、ボランティア活動で当財団の活動を支えてください。

●「一緒にやりましょう」

研究会、講座、参加型ワークショップやさまざまな調査活動に取り組んでいます。あなたの参加で活動を広げてください。

●「賛助会員になってください」

当財団の目的に賛同してくださる方は、ぜひ賛助会員になってください。

●年会費

| | |
|-------|--------------|
| 個人 | 年一口 5,000 円 |
| 学生 | 年一口 2,000 円 |
| 法人・団体 | 年一口 10,000 円 |



賛助会員になると…

- * 機関誌 Libella (年 6 回) と年報 (年 1 回) をお届けします
- * メール通信「あおぞら EXPRESS」を配信します (登録必要)
- * 財団の主催するイベント、講座、研究会などの情報をお知らせします
- * 会員限定のいろいろな割引があります
- * 各種イベントの企画・運営に参加できます
- * 会員同士の交流の場に参加できます

●「ボランティアスタッフ募集しています」

あなたの思いを実現できる仕事がきっと見つかります。登録をお待ちしています。

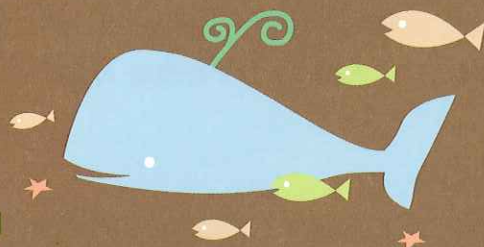
●「インターンしてみませんか？」

環境 NPO で仕事をすると、どういうこと？

そんな疑問・関心をお持ちの方はぜひチャレンジしてみてください。短期は 2 週間から、長期はご相談に応じます。

まずは、ご連絡ください。

「入会申込書」、「ボランティアスタッフ登録用紙」、「インターン実習申し込み用紙」のうち、ご希望の用紙をお求めください。必要事項を記入して事務局に郵便かファクスで送付してください。いずれもホームページからの申し込みも可能です。



● あおぞらビルのご案内

屋上には、風力と太陽光発電機を設置。
壁には NOx（窒素酸化物）の削減効果がある光触媒を塗付。
「森と海～つながる地球」をイメージした壁画が目じるしです。

6F 書庫

5F 「西淀川・公害と環境資料館」（あおぞら財団付属）
大気汚染や公害・環境問題に関する資料、まちづくりや環境学習に役立つ図書などがあります。

4F あおぞら財団事務所

3F グリーンルーム（患者会附属会議室）

2F 西淀川公害患者と家族の会事務所

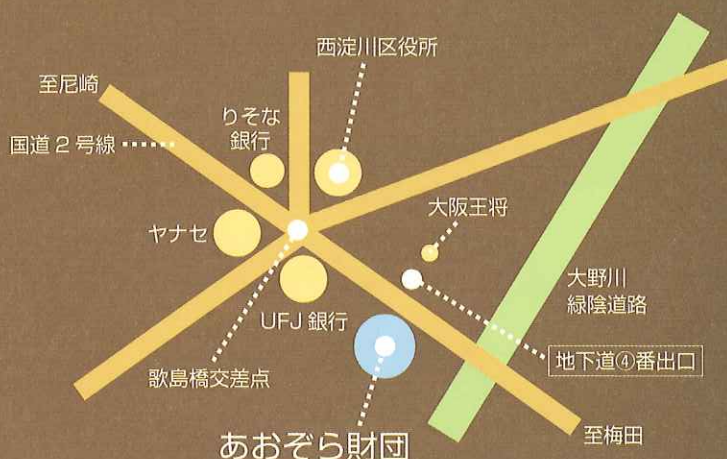
1F 多目的スペース



〒555-0013 大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル 4階
TEL. 06-6475-8885 FAX. 06-6478-5885

<http://www.aozora.or.jp/>
webmaster@aozora.or.jp

この印刷物は再生紙を使用しています。



《最寄り駅》JR東西線「御幣島（みてじま）」駅
地下道④番出口より徒歩3分
国道2号線沿い、UFJ銀行の2軒どなり